

課題解決型高度医療人材養成プログラム 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

テーマ②：外科解剖・手術領域

		整理番号	3
申請担当大学名 (連携大学名)	名古屋大学 (岐阜大学、浜松医科大学、三重大学)計4大学		
事業名	東海国立大学病院機構 CST ネットワーク事業		
事業責任者	名古屋大学大学院医学系研究科長・門松 健治		
事業の概要			
<p>『東海国立大学病院機構 CST ネットワーク事業』では、より多くの医師・歯科医師のほか、大学院生や医学生等にサージカルトレーニングや研究の機会を提供することで、各分野における将来的を担う指導者を養成することを大きな目標としている。東海地区の国立大学とネットワークを形成し、4分野「人材育成」「手術手技開発」「医療機器開発」「医療安全」など多岐にわたる医療資源の創出を目指す。根幹となる事業の実施体制としては、各大学医学系研究科長、医学系研究科・病院職員等で構成される東海国立大学病院機構 CST ネットワーク運営委員会を設置し、年度毎に事業全体の進捗状況確認、評価、修了認定等を行う。一方、評価体制としては、医学系研究科・病院職員、ネットワーク施設職員および外部評価委員（当事者含む）により構成される評価委員会を設置し、毎年事業の評価、見直し、改善をはかりながら、より効果的かつ倫理面にも配慮した組織とする。</p>			
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○「臨床系統解剖学講座」の特別単位を開設する点、また、医師偏在における地方の病院に従事する医師、歯科医師にとって、各大学の CST 会場に情報通信機器を配置し遠隔講義を可能とする点は評価できる。</p> <p>○大学間の連携と役割分担が明確であり、実現可能性が高い。また、補助期間中の2年目より自己負担額が計上されており、補助期間後の事業継続の可能性が高い。</p> <p>○東海地区にネットワークを形成することで多くの医療資源の創出を目指しており、人との選択と集中の観点から成果が得られるものと期待できる。また、連携体制についてすでに多くの企業と構想を有しており、事業の発展が期待される。</p> <p>●遠隔講義による参加は評価できるが、実際のご遺体を用いた手術手技の履修についても、独自の技術の開発を期待したい。</p> <p>●事業成果の普及において、東海以外の他大学にも成果が拡大するような取組を期待したい。</p>			